

福井の伝統的民家活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子
事業主体	県、市町				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H17 年度 経過年数 20 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助										
補助率	1/2等										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [4 安心を高める(地域力)] 政策 [15 ふるさとの暮らしと風景の維持]				関連する県の計画等		[]				
[解決すべき問題・課題] 伝統的民家の価値を所有者自身が知らない、住み続けるには改修費用が大きく、取り壊しが進行。その中、観光客や移住者を呼び込む、福井らしい、地域の歴史・個性を生かしたまちづくりのためにも、伝統的民家の保存による美しい集落や町並み景観の維持・保全への継続した支援が必要。						[問題・課題を表す客観的データ] ・県内の伝統的民家数約5,400棟 ・北国街道今庄宿(H23推進地区指定、13件の伝統的民家改修支援)が、令和3年度、国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定。					
[事業目的] 福井の伝統的民家の保存および活用を推進し、市町が実施する伝統的民家や蔵などが集積する街並み景観の保全・活用に資する事業を支援することにより、集落景観のレベルアップを図り、地域の個性に合った街並みづくりを推進する。											
[事業内容] (1) 伝統的民家群保存活用推進地区(以下、推進地区)内での景観づくりに対する補助 ① 伝統的民家の新築：外観の工事に補助する市町に対し、市町補助額の1/2以内(限度額800千円) ② 伝統的民家や土蔵、門、塀の改修：外観、構造体の改修工事に補助する市町に対し、市町補助額の1/2以内かつ対象経費の1/4以内(限度額1,500千円) ③ 伝統的民家の空き家の活用：地域の活性化に資する施設に改修するための、外観、構造体および内部の改修工事に補助する市町に対し、交流施設、文化施設、体験学習施設の場合、市町事業費または補助額の1/2以内(限度額3,000千円)、民間事業施設の場合、市町補助額の1/2以内かつ対象経費の1/4以内(限度額3,000千円) ④ 景観づくり活動：街並みを活かした景観保全・景観づくり活動に補助する市町に対し、市町補助額の10/10(限度額200千円 地区指定後2年間のみ) (2) ふくい棟梁講座(伝統工法の実技実習および講習)の支援((一社)福井県建築組合連合会) 対象経費の1/2以内(限度額500千円) (3) 福井の伝統的民家認定表札加工および普及PRリーフレット作成 (4) 福井の伝統的民家の普及啓発活動(日常の維持管理に関する講習会の開催)											
[受益者] 伝統的民家所有者等						[想定される受益者数] 約5,400棟(県内の伝統的民家数)					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井の歴史的建造物保存促進事業 他 (役割分担) ・福井の歴史的建造物保存促進事業 ・福井の歴史的建造物の改修等に対する支援 ・重要伝統的建造物群保存地区整備事業 ・重要伝統的建造物群保存地区に選定された地区内の建造物整備に対する支援 ・指定文化財保存修理等補助金 ・指定文化財の修理に対する支援				
市町との連携状況	・市町が改修等を希望する所有者から申請を受ける ・県は、伝統的民家の改修等を支援する市町に対し補助を実施					他県の状況					

福井の伝統的民家活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H17 年度 経過年数 20 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	1/2等											
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等				
予算額	12,802					12,802						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		23,390	21,190	18,802	18,802	12,802	過去実績に合わせた減額					
2月現計予算額の推移		17,334	12,860	10,102	9,899							
決算額の推移		16,750	12,104	9,733								
前年度までの 主な増減理由	伝統的民家の改修等の件数は年々減少傾向にあり、過去実績、市町要望に合わせて予算を減額											
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	改修事業件数	(目標) (22)	(20)	(18)	(16)	(12)		(12)	12件/年の改修（市町要望および近年の改修実績によりR5年度より変更）			
		実績 24	15	11	11							
活動指標	推進地区指定数	(目標) (2)	(2)	(2)	(2)	(2)		(2)	2地区/年の指定			
		実績 2	2	2	2							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
事業による要因 制度周知の不足 外的要因 建設資材費、労務単価の高騰等により建物所有者の事情により予定していた改修ができなかった				県および市町による更なる制度の周知をすすめる				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額 6,000	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

福井ふるさと百景活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県、市町、景観づくり活動団体				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	H23 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [4 安心を高める(地域力)] 政策 [15 ふるさとの暮らしと風景の維持]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 福井には美しい景観が数多くあるが、それらを守っていく地域の担い手不足や資金不足等で、景観づくりが低迷している。また、景観を眺望する視点場の数も少ない。						[問題・課題を表す客観的データ] ・景観保全活動団体数 65団体 ・視点場整備数 20箇所(とやま眺望点: 30箇所)						
[事業目的] 福井の美しい景観を守り伝えていくために、「福井ふるさと百景」を活用し、地域団体が進める景観づくり活動を支援するなど、地域とともに景観づくりを推進する。												
[事業内容] (1) 景観づくり活動団体に対する補助 ・百景選定地におけるふるさと景観を守り育てていく景観づくり活動団体を支援する市町に対し補助 【補助率】10/10(補助上限額 200千円/年) 【事業期間】2年間 【補助対象】地域団体: 3団体 (2) ふるさと福井景観づくり懇談会の開催 ・学識経験者、県民代表等で組織する「ふるさと福井景観づくり懇談会」を開催												
[受益者] 県内外からの観光客						[想定される受益者数] 10,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 景観まちづくり推進事業 (役割分担) 方針策定や建造物の修景、整備工事等、市町が実施する景観まちづくり事業に対する支援					
市町との連携状況	活動団体は市町に申請を行い、県は市町を通じて補助を実施					他県の状況	<input type="checkbox"/> 普及・啓発 石川県・・・いしかわ景観大賞、俳句大会、景観教室、絵画コンクール、白山眺望スポットガイド作成、いしかわ景観づくりガイドブック作成 富山県・・・景観づくりフォーラムの開催、うるおい環境とやま賞、「ふるさと眺望点」の指定 <input type="checkbox"/> 審査会等 石川県、富山県・・・景観審議会を設置					

福井ふるさと百景活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県、市町、景観づくり活動団体				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	699				699							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		3,606	3,120	3,627	1,395	699	補助団体の減による減額					
2月現計予算額の推移		2,139	2,850	2,627	1,395							
決算額の推移		1,698	1,698	2,036								
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・ R元年度は、ガイドブック改訂による増額 ・ R2年度は、景観セミナー休止による減額 ・ R4年度は、フォトコンテスト実施による増額 ・ R5年度は、ガイドブック販売委託およびフォトコンテストの終了による減額 										
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	新たな景観づくり活動に 取り組む団体数	(4)	(3)	(3)	-	-			団体認定は令和4年度で完了			
		4	3	3								
活動指標	ビューポイント整備箇所 数	(1)	(1)	-	-	-			ビューポイント整備は令和3年度で完了			
		0	1	-								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
令和4年度：景観づくり活動団体を3団体認定 補助金を8団体に交付 令和5年度：補助金を6団体に交付（見込み）								<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	696	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

福井の歴史的建造物保存促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H17 年度 経過年数 20 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	1/2等											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [4 安心を高める(地域力)] 政策 [15 ふるさとの暮らしと風景の維持]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 地域の風景を維持し、観光客や移住者を呼び込む、地域の歴史・個性を生かしたまちづくりのためには、地域の核となる歴史的建造物を保存・活用することが必要						[問題・課題を表す客観的データ] 県内の歴史的建造物 485棟(福井の歴史的建造物)						
[事業目的] 市町が実施する歴史的建造物の改修補助事業に対し支援を行い、歴史的建造物の保存およびまちづくりへの活用を促進する。												
[事業内容] (1) 歴史的建造物のうち登録有形文化財建造物 外観および公開範囲の内装に関わる部位の改修工事に補助する市町に対し、市町補助額の1/2以内かつ対象経費から国費補助相当額を差し引いた額の1/2以内(補助限度額1,500千円)を補助 (2) 上記以外の歴史的建造物(指定文化財を除く) 外観の改修工事に補助する市町に対し、市町補助額の1/2以内かつ対象経費の1/4以内(補助限度額1,500千円)を補助 【福井の歴史的建造物とは】 (平成16年度に1,915件の建造物を調査し、内485件を「福井の歴史的建造物」として紹介) 原則として第二次世界大戦終結時までに建造され、下記の①～④のいずれかに該当するもので、県が歴史的建造物等活用推進会議の意見を踏まえ、ふるさとの象徴として保存継承していく価値があると認める建造物。ただし、指定文化財を除く。 ①地域の歴史を象徴するもの ②建築文化や生活文化を継承するもの ③民俗学的に価値のあるもの ④街並みおよび景観の整備に貢献するもの												
[受益者] 歴史的建造物所有者(管理者)						[想定される受益者数] 485棟(福井の歴史的建造物)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 福井の伝統的民家活用推進事業 他 (役割分担) ・福井の伝統的民家活用推進事業 福井の伝統的民家の改修等及び景観づくり活動に対する支援 ・重要伝統的建造物群保存地区整備事業 重要伝統的建造物群保存地区に選定された地区内の建造物整備に対する支援 ・指定文化財保存修理等補助金 指定文化財の修理に対する支援						
市町との連携状況	・市町が改修等を希望する所有者から申請を受ける ・県は、歴史的建造物の改修等を支援する市町に対し補助を実施				他県の状況	石川県、富山県はなし 〔佐賀県〕 佐賀県遺産支援事業 佐賀県遺産に認定された建造物の外観保全に対し、対象経費1/2を補助(5,000千円限度)						

福井の歴史的建造物保存促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子					
事業主体	県、市町				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業開始年度	H17 年度 経過年数 20 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R8 年度		
事業実施方法	直営、補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	1/2等															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	2,000					2,000										
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区分		令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和4年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移		3,058	2,500	2,500	2,500	2,000	市町要望による予算額の減額									
2月現計予算額の推移		58	1,000	1,500	1,418											
決算額の推移		34	822	1,356												
前年度までの 主な増減理由		市町の要望による														
[成果指標等の推移]																
区分		令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	改修等事業件数	(目標)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	2件/年の改修							
		実績	0	1	3	2										
活動指標	補助事業者数	(目標)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	2件市町/年の改修							
		実績	0	1	3	2										
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価								
・令和5年度：改修実績2件				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

景観まちづくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部外	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	市町				事務 区 分	■ 自 治 事 務 □ 法 定 受 託 事 務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2等											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [4 安心を高める(地域力)] 政策 [15 ふるさとの暮らしと風景の維持]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 新幹線開業にあたって、福井の美しい風景を景観資源として、開業後も継続して福井の景観のレベルアップを図り、観光客の満足度を高め、にぎわいづくりを図っていく必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] じゃらん宿泊旅行調査2022において、宿泊旅行の目的として、「花見や紅葉などの自然景観」が回答者の5.4%(全国平均9.8%)、「まちあるき、都市散策」が9.1%(全国平均18.9%)と、風景や景観が観光資源となりえていない。						
[事業目的] 福井の特徴である歴史・文化景観のさらなる維持・向上を図る景観づくりは、県民にとって地元福井への誇りや、観光誘客にもつながるものである。市町に対する支援を行うことで、地域の特徴を生かした景観まちづくりを推進する。												
[事業内容] ○市町の景観まちづくり支援 市町の景観計画策定・改訂事業や、特定の地域(伝統的民家群保存活用推進地区や日本遺産構成文化財周辺等)での修景、広場やサイン整備、景観づくり活動に補助 ・市町の景観まちづくりの方針策定等(景観計画や景観ガイドライン等の策定・改訂事業費の1/2) ・特定の地域かつ景観形成重点地区における、民間が行う建築物の外観、外構、看板等の修景工事(補助対象工事費の1/4、市町補助の1/2、上限150万円/件) ・特定の地域における、広場の整備、駐車場の修景、案内サインの設置・修景、ライトアップ事業等(工事費の1/2、上限200万円) ・特定の地域における、NPOや住民団体等による景観づくり活動(補助対象経費の1/3、市町補助の1/2、上限20万円) ○重要文化的景観保存活用推進事業 「越前海岸の水仙畑の文化的景観」について、各市町および福井市・越前町・南越前町が主体の協議会が実施する景観向上事業や魅力発信事業を支援(補助率:対象経費から国庫補助相当額を差し引いた額の1/2)												
[受益者] 県内外からの観光客						[想定される受益者数] 10,000人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井ふるさと広域景観形成事業 (実績) 広域景観軸6軸において、26カ所の視点場を整備					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井ふるさと百景活用推進事業 (役割分担) 福井ふるさと百景選定地の景観を地域の力で守り育てていく景観づくり活動団体等を支援				
市町との連携状況	県と構成市町が内容等を協議し、事業を推進					他県の状況		市町への修景補助制度があるのは8県				

景観まちづくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部外	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子					
事業主体		市町			事務区分	■ 自治事務		事業区分	□ 実行予算		事業開始年度	H28 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R9 年度		
事業実施方法		補助				□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率		1/2等														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	20,300				20,300											
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区分		令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移		32,176	14,065	26,624	10,623	20,300	市町要望による増額									
2月現計予算額の推移		21,476	11,265	26,624	7,022											
決算額の推移		20,647	11,126	26,240												
前年度までの主な増減理由		※R元～4は「福井ふるさと広域景観形成事業」の予算額推移 ・R5：前事業からの整理による減額														
[成果指標等の推移]																
区分		令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	宿泊旅行の目的（じゃらん宿泊旅行調査）「まちあるき・都市散策」	(目標)		11.8	(12%)	(13%)		(18.9%)	町並み景観が観光資源となり、満足度が向上されているか (2022年度9.1%→10年で全国平均18.9%まで高める)							
活動指標	新規重点地区設定市町数	(目標)			(0)	(0)		(2)								
		実績			0				面的な景観形成を図るための重点地区設定市町数の増加 (国：R元年度347→R7年度450 に合わせ、県：R5年度8→R9年度10)							
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価								
・令和5年度実績 景観計画の策定 1市町 修景工事 3件（建築物の外観2件、外構1件） その他 1件（福井城址周辺の転落防止柵の塗装改修1件）								□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額					
								■ 継続	□ 休止	□ 完了						
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他						

福井の風景活用発信事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [4 安心を高める(地域力)] 政策 [15 ふるさとの暮らしと風景の維持]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 雄大な自然や歴史的な建物、素朴な暮らしを感じる町並など、「福井ふるさと百景」に代表される福井の風景のすばらしさが県内外に発信されていない						[問題・課題を表す客観的データ] 県内の観光地を紹介する映像は数多く掲載されているが、景観を発信する映像や画像については、県観光連盟のHPやフィルムコミッションのHPにも掲載されていない。						
[事業目的] 雄大な自然や歴史的な建物、素朴な暮らしを感じる町並など、「福井ふるさと百景」に代表される福井の風景のすばらしさを県内外に広く発信したい。そこで、福井の風景の映像や写真を撮影し県内外へ情報発信するとともに、映画やYoutube等で活用してもらうことで、福井の風景の広い認知につなげる。												
[事業内容] (1) <input type="checkbox"/> ンシーン映像、ドローン映像、風景映像、スチール写真の撮影 (2) 風景素材のフリー素材化 (3) 福井の風景情報発信												
[受益者] 県内外からの観光客						[想定される受益者数] 10,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井ふるさと百景活用推進事業 (役割分担) 福井ふるさと百景選定地の景観を地域の力で守り育てていく景観づくり活動団体等を支援					
市町との連携状況						他県の状況						

福井の風景活用発信事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子					
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業開始年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R8 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	—															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	5,748				5,748											
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移						5,748										
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	風景素材の活用 (目標) 実績							(2)	TV番組や商用での活用(県への報告を求める活用) 2件(令和8年度時点)							
活動指標	風景素材の撮影 (目標) 実績					(10)		(17)	県内17市町での撮影							
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価								
—				—				<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し 見直し額 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他								

福井の方言利用促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(想像力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 福井特有の文化の一つである福井の方言が、若い世代ではあまり使われていなくなっている。						[問題・課題を表す客観的データ] 方言の好感度 福井県：20%、石川県：47%、富山県：30% 観光客が感じる地元のホスピタリティ 福井県45位						
[事業目的] 県外観光客が福井の文化を感じ楽しむきっかけとするため、福井の方言を活用し、福井県のPRや再来につなげる。												
[事業内容] (1) 福井の方言紹介ツールの活用 令和5年度に制作した福井の方言紹介ツールを活用し、方言が旅行中の県外観光客の目に留まるようPR (例：方言を使ったコースターやシールを制作し、飲食店や土産物店で使用) (2) 民間と連携した方言の活用 商品パッケージデザインへの方言活用など、民間と連携した方言の活用の検討												
[受益者] 県内外からの観光客						[想定される受益者数] 10,000人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 北陸新幹線開業に向けたふくいブーム創出事業(ブランド課) (実績) 映画製作、方言デザインコンペ開催、高校生による方言辞典制作等					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

福井の方言利用促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,925				3,925							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					6,121	3,925	事業内容の変更に伴う減額					
2月現計予算額の推移					6,121							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年) (目標) 実績	11,706	12,356	15,191		(20,000)	(20,000)		令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略 H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)			
活動指標	方言紹介カード配布数 (目標) 実績				(30,000) 30,000	(25,000)						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
方言紹介カード配布 30,000部 方言講演会 2月18日開催、約120名参加				R5に作成した方言紹介カードを活用し、民間と協力した発信を強化する				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	2,196	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

大河ドラマ等を活用した情報発信事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営										
補助率	-										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(想像力)]	政策 [10 新幹線開業効果を最大限]			関連する県の計画等		[]				
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]					
大河ドラマの関連人物について、福井県とゆかりの認知度を高める						福井県観光客入込数(実績) : 15,191人 (R4)					
[事業目的]											
2024年の大河ドラマ「光る君へ」の放送前の段階から本県との関係性、ゆかりの地を発信することにより、北陸新幹線の開業効果を最大限高める。											
[事業内容]											
ゆかりの地を巡るリーフレット制作 紫式部、安倍晴明のゆかりの地や、平安時代の福井を紹介。											
[受益者] 県内外からの観光客						[想定される受益者数] 10,000人					
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 (実績) R2年度: 大河ドラマ「麒麟がくる」情報発信事業 R3年度: 大河ドラマ「青天を衝け」情報発信事業					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 同事業(ブランド課) (役割分担) PR関係はブランド課で実施				
市町との連携状況	県と構成市町が内容等を協議し、事業を推進					他県の状況					

大河ドラマ等を活用した情報発信事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等				
予算額						0						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				0	1,648		大河ドラマのテーマに伴うため					
2月現計予算額の推移				3,584	1,648							
決算額の推移				3,451								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標)				(20,000)	(20,000)		令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略 H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)			
		実績	11,706	12,356	15,191							
活動指標	リーフレット配布数	(目標)		(30,000)	(30,000)							
		実績		30,000	30,000							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
令和5年度：リーフレット30,000部配布								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,648	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

ふくい県民総合文化祭開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県内芸術文化活動団体				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H18 年度 経過年数 19 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[福井県文化振興プラン(仮称)]					
[解決すべき問題・課題] 芸術文化活動に取り組む団体の高齢化が進み、後継者がいないため活動休止となる団体が増加、県民が芸術文化活動に参加し、ふくいの芸術文化活動の継承と芸術文化の発展につなげるため、参加型の芸術文化フェスティバルを開催する芸術文化団体の活動を支援する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」を行うNPO認証数(内閣府) 9.1件/人口(45位/47都道府県)						
[事業目的] 県民一人ひとりの積極的な参加により、多様な文化の発表、活動、交流、観賞を行う「参加型」のフェスティバルを県内各地で開催し、多くの県民に身近にふくいの芸術文化に親しむ機会を提供する。さらにふくいの文化を全国に発信し交流を促進するため、国民文化祭への参加を支援する。												
[事業内容] (1) 「ふくい県民総合文化祭」の開催 7,300千円 ・「福井県総合美術展」(福井県美術の会)、「福井県音楽コンクール」(福井県音楽コンクール運営委員会)の開催を支援 【補助金】上限1,500千円/団体、補助率1/2 ・「ふくい文化フェスティバル(仮称)」(福井県文化協議会)の開催を支援 【補助金】上限3,000千円/団体、補助率1/2 ・「選抜芸能祭」「選抜美術展」の開催を支援 市町文化協議会が持ち回りで開催する活動発表事業を支援 【補助金】上限500千円/団体、補助率1/2 ・「ふくい県民総合文化祭」の一体的な広報 (2) 国民文化祭への参加支援 150千円 【補助金】上限150千円/団体(交通費7千円/人)、補助率1/2												
[受益者] 芸術文化活動団体および各種分野の発表会、体験教室に参加する県民						[想定される受益者数] 12,899人(令和3年度実績)						
前事業の有無・実績		■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 芸術団体文化活動活性化事業 (役割分担) ・芸術団体文化活動活性化事業 (一社)福井県文化協議会とその会員団体が共催する事業への補助				
市町との連携状況						他県の状況						

ふくい県民総合文化祭開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県内芸術文化活動団体				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H18 年度 経過年数 19 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	7,450				7,450							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		8,100	8,100	7,500	7,500	7,450						
2月現計予算額の推移		3,092	6,886	7,262	7,500							
決算額の推移		2,728	6,258	7,262								
前年度までの 主な増減理由	平成30年度 令和元年度に補助事業実施団体数の見直し 令和4年度 新型コロナ対策経費補助の減 (50,000円×12団体)											
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	参加人数（観客数含む） (目標) 実績	(26,000) 5,517	(26,000) 12,899	(26,000) 13,647	(26,000) 17,805	(26,000)	(26,000)	(26,000)	県民文化祭参加者数 (R6より事業の内容を見直したため指標を変更。 R5までの指標：ふれあいフェスティバル参加人数（観客数含）			
活動指標	参加団体数 (目標) 実績	(23) 13	(23) 20	(23) 21	(23) 20	(23)	(23)	(23)	県民文化祭として助成もしくは共催した団体数 (R6より事業の内容を見直したため指標を変更。 R5までの指標：助成団体数)			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業による要因 毎年一団体ごとの補助額が減少し、それに伴い事業を縮小せざるを得ない団体もあったことから参加人数および参加団体数が未達成となった。 ・ 外的要因 団体の高齢化や担い手減少により、以前ほどの規模で活動ができない文化団体がでてきている。 				個別の文化団体への補助を見直し、新たに様々な文化団体が一堂に会する総合的な文化イベントの開催を支援する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

ふくい文化の担い手育成プロジェクト

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[福井県文化振興プラン(仮称)]					
[解決すべき問題・課題] 将来の文化の担い手となる子どもたちが芸術文化に親しむ環境整備が必要						[問題・課題を表す客観的データ] 「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」を行うNPO認証数(内閣府) 9.1件/人口(45位/47都道府県)						
[事業目的] 音楽堂や美術館、博物館などの文化施設を利用し、子どもの文化に触れる機会を増やすとともに、一流のアーティストの指導を受ける場を提供し、福井の文化の担い手を育成する。												
[事業内容] (1) 公演事業 ①ふるさと子どもコンサート…幼児・小学校低学年の児童を対象とした、地域の演奏家等による親しみやすいコンサート (2) 文化施設活用事業 ①キッズミュージアム…企画展等に合わせて子ども向け体験講座1施設あたり年2回実施 ②学校鑑賞会…授業や部活動の一環で文化施設での企画展を観覧料減免で鑑賞できる機会を提供 ③学校が校外学習で利用できる通年のプログラムを作成・実施(音楽堂) ④ふれあいミュージアム…学芸員等が学校へ出向き、専門的知識を生かして美術・歴史等の授業を実施 (3) 芸術家派遣事業 プロ演奏家・芸術家を学校へ派遣し、文化部の生徒を対象とした講和、実技披露、実技指導を実施 (4) アートコミュニケーター養成事業 芸術鑑賞等のプログラム企画・運営、ファシリテーターとして芸術と人をつなぐ役割を担うアートコミュニケーターの養成講座を実施												
[受益者] 幼児、小学生、中学生、高校生						[想定される受益者数] 5,000人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 子どものための文化芸術促進事業(実績) ・文化施設で伝統芸能、室内楽、合唱等を鑑賞する「芸術鑑賞教室」 ・子どもが日頃の文化活動の成果を発表する「子ども文化祭」等					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

ふくい文化の担い手育成プロジェクト

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度 H23 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営										
補助率	—										
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額	12,835			300	12,535	地域創造（地域の文化・芸術活動助成事業助成金）					
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和 6 年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移		49,821	50,300	3,882	41,338	12,835					
2 月現計予算額の推移		28,306	50,610	3,882	34,666						
決算額の推移		28,225	49,996	3,324							
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ R2年度 出張音楽堂の実施回数減による減額 ・ R3年度 コロナ対策のかかり増し経費の増額 ・ R4年度 事業内容の整理による減額（ふれあい文化子どもスクール、ふるさと子どもコンサート（音楽堂）、未来の音楽人材育成事業） ・ R5年度 6月補正でこどもアートデビュー体験を追加したことによる増額 										
[成果指標等の推移]											
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	芸術・文化を体験する子どもの数 (目標) 実績	(11,000) 5,216	(11,000) 6,846	(11,000) 5,555	(11,000) 13,391	(5,000)	(5,000)	(5,000)	本事業で実施したプログラムの参加者数 (R6より全小学校を対象としたオーケストラ鑑賞体験プログラムを廃止したため、目標値を11,000人→5,000人に変更)		
活動指標	事業実施回数 (目標) 実績	(80) 76	(80) 74	(80) 95	(80) 166	(80)	(80)	(80)	本事業で実施したプログラムの実施回数		
[事業の評価]											
前年度の実績・成果指標等の定量的評価			実績を踏まえた令和 6 年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児から高校生まで、市町や学校等が自由に選んで利用できる文化プログラムを提供した。 ・ こどもアートデビュー体験では、小学校高学年を対象にオーケストラ鑑賞を行い、約3,500人が参加した。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽堂の裏側ツアー体験プログラムの新設など、音楽堂でのプログラムを充実させるとともに、プロ演奏家・芸術家を中高の部活動に派遣し、実技指導や講和などを行う事業を拡充。 ・ 各種プログラムを一体的に学校に周知し、活用を促進する。 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
							<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	28,503	
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

まちかど幸福ピアノ設置事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営			経過年数					5 年			
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくい の活力]				関連する県の計画等		[福井県文化振興プラン (仮称)]					
[解決すべき問題・課題] 街の中に芸術文化に触れる空間が少なく、文化活動の練習や発表の場を創出することが必要となっている。						[問題・課題を表す客観的データ] 「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」を行うNPO認証数 (内閣府) 9.1件/人口 (45位/47都道府県)						
[事業目的] 学校等で使われなくなったピアノを、えちぜん鉄道福井駅待合室に、誰でも、自由に、いつでも弾くことができる「まちかど幸福ピアノ」として設置し、演奏者も聴く人も駅に降り立った瞬間から文化の香りを実感できるような空間を創出する。												
[事業内容] ピアノの維持管理 ・ 調律 (夏、冬) ・ 外装クリーニング												
[受益者] 県内外の観光客						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

まちかど幸福ピアノ設置事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R6 年度	
事業実施方法	直営									R2 年度			経過年数
補助率	—									5 年			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	204				204								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分	分	令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		506	254	254	224	204							
2月現計予算額の推移		506	254	254	224								
決算額の推移		112	34	137									
前年度までの主な増減理由	R3 ピアノ1台分の管理費へ減												
[成果指標等の推移]													
区分	分	令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	ピアノの利用日数	(目標) (365)	(365)	(365)	(365)	(365)	(365)	(365)	利用頻度1日1回以上				
		実績 365	365	365	365								
活動指標	ピアノの調律回数	(目標) (2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	年2回ピアノの調律を実施				
		実績 2	2	2	1								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
・利用者数：約15人/日 ・事業による要因 令和6年度は4月にミニコンサートを予定しており、調律時期を後倒しにしたため、ピアノの調律回数が未達成となった。				地元企業と連携して行ったピアノ装飾を広くPRすることにより幸福ピアノの認知度を向上し、利用者増につなげる。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

みんなのまちなかステージ設置支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくい の活力]				関連する県の計画等	〔 福井県文化振興プラン(仮称) 〕						
[解決すべき問題・課題] 街の中に芸術文化に触れる空間が少なく、文化活動の練習や発表の場を創出することが必要となっている。						[問題・課題を表す客観的データ] 「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」を行うNPO認証数(内閣府) 9.1件/人口(45位/47都道府県)						
[事業目的] まちなかで誰もが芸術文化活動を発表できるステージの設置を支援し、誰もが気軽に芸術文化に触れる機会を増やし、まちなかの賑わいを創出する。												
[事業内容] (1) まちなかステージの設置・運営支援 音楽やダンス、演劇、アートなど、様々なジャンルの芸術文化活動発表のため、学生、プロ・アマ問わず、誰もが利用できる簡易な「まちなかステージ」の設置・運営を支援(初年度の経費を支援し、2年目以降は自立化) <利用方法等> ・事前登録、申込制 ・内容が芸術文化振興に資すること <設置場所> ・R3: 1カ所 [福井市] アップルロード(毎週日曜日) ハピテラス(毎週木曜日) ・R4: 2カ所 [大野市] COCONOアートプレイス(毎月1回)、[敦賀市] 国道8号線歩行空間(毎月1回) ・R5: 3ヶ所 [あわら市] アフレア(毎月1回)、[越前市] 武生中央公園(2か月に1回)、[勝山市] 道の駅恐竜溪谷かつやま(設置予定) ・R6: 3カ所 坂井市、美浜町、おおい町の道の駅、賑わい交流施設、公園等へ設置予定												
[受益者] 県内の文化芸術団体						[想定される受益者数] 約100団体						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

みんなのまちなかステージ設置支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	5,803				5,803							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			11,097	9,753	5,803	<ul style="list-style-type: none"> ・大野市の企画ステージの減（事業完了） ・ストリートカルチャーフェス開催費支援の減（1/3支援→0）※4年目となり自走化 						
2月現計予算額の推移	6,500	6,500	6,539	7,819								
決算額の推移	0	5,000	6,496									
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度 令和3年度当初予算を令和2年度補正予算に前倒し ・令和5年度 ストリートカルチャーフェス開催費支援の減（1/2支援→1/3支援） 											
[成果指標等の推移]												
区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	ステージの出演者数 (目標)	(50)	(110)	(110)	(200)	(200)	(200)	まちなかステージの出演者数				
	実績	67	178	596								
活動指標	ステージの設置数 (目標)	(3)	(4)	(3)	(3)	(3)	(3)	まちなかステージの設置数				
	実績	3	2	3								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・あわら市、越前市、勝山市において、新たにまちなかステージを設置。それぞれオープニングイベントには多くの方が来場するとともに、継続してステージイベントを実施している。 ・ストリートカルチャーフェスは、令和5年度の来場者数が2,000人と盛り上がりを見せている。 				<ul style="list-style-type: none"> ・ストリートカルチャーフェスが4年目となり団体自主運営（自走化）するため、開催費支援を減。 ・ステージ設置箇所を県内で拡大して、まちなかで誰もが芸術文化活動を発表できる機会を増やす。 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	3,950	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

若手美術家育成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度		
事業実施方法	直営													
補助率	—													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくい の活力]				関連する県の計画等		[福井県文化振興プラン (仮称)]							
[解決すべき問題・課題] 多くの美術ファンが集う都内で若手美術家の創作活動が発表できる機会はなく、優秀な作家であっても発信力に欠けているため、全国発信するツールが必要となっている。						[問題・課題を表す客観的データ] 平成27年国勢調査 県の職業別就業者数 小分類「美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者」1,500人／399,450人								
[事業目的] 本県ゆかりの若手美術家の発表機会を創出し、創作活動の発信を応援する。														
[事業内容] ○ふくいアートアタック 首都圏において、若手美術家が初めて開催する個展を支援する。 ・出展する本県ゆかりの若手美術家を公募 (2枠) ・学芸員資格保有者などの美術に精通している委員で構成する審査委員会により、出展作家を選定 ・会場使用料、広報費、企画料などを県が負担 ・会場は、首都圏において美術関係者、美術ファンが集い美術に関する情報が集積する場所 ・会期は、2週間程度 (1枠当たり1週間)														
[受益者] 本県ゆかりの若手美術家						[想定される受益者数] 16名 (8年間)								
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況						他県の状況								

若手美術家育成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R10 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	2,461				2,461							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			2,452	2,452	2,461							
2月現計予算額の推移	1,885	1,885	2,452	2,452								
決算額の推移	0	1,880	2,450									
前年度までの 主な増減理由	R3年度当初予算をR2年度に補正予算に前倒し											
[成果指標等の推移]												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	作品展示する若手美術家数	(目標) — (実績) 2	(2) 2	(2) 2	(2) 2	(2)	(2)	公募による選定 2名/年				
活動指標	応募者数	(目標) — (実績) 24	— 18	— 18	— 7	—	—					
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 応募者7名から、東京での個展開催作家を2名選定。 ・ 令和6年2月に東京銀座のギャラリーで個展を開催。開催期間中に造形作品が7点売れるなど好評を得た。 				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

音楽を活用したまちづくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [3 楽しみを広げる (創造力)] 政 策 [12 文化・スポーツがふくい の活力]				関連する県の計画等		[福井県文化振興プラン (仮称)]					
[解決すべき問題・課題] これまでの芸術文化活動は、ホールなど施設の中での発表・鑑賞が中心であり、広く一般に享受されてこなかった。音楽を活用したコミュニティを形成することにより、芸術文化に親しむ環境が必要となっている。						[問題・課題を表す客観的データ] 「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」を行うNPO認証数 (内閣府) 9.1件/人口 (45位/47都道府県)						
[事業目的] 株式会社ヤマハミュージックジャパンが実施する音楽の街づくり「おとまち」のノウハウの提供や運営協力を得ながら、まちなかでいつでも音楽が聞こえるまちづくりを推進する。												
[事業内容] (1) 音楽を始めたいアマチュアプレイヤーの発掘と仲間づくりを支援 ・ドラムサークルを通じて、幅広い年代に音楽の楽しさを実感してもらう ・全県下の婦人会の推進員が、音楽に興味のあるアマチュアプレイヤーを掘り起こす ・婦人会が、掘り起こしたアマチュアプレイヤーを(2)へつなげるほか、身近な音楽グループづくりを応援 (2) 市町ホールを拠点とする音楽サークルの運営支援 ・令和3年度から住民交流や市町のホール利用促進のため、7市町で設立した音楽サークルの運営 (①鯖江市：吹奏楽、②越前市：ラテン、③美浜町：軽音楽、④若狭町：ウクレレ、⑤永平寺町：ギター、⑥小浜市：フルート、⑦坂井市：ギター) ・2年目(⑥、⑦)、3年目(⑤)のサークル活動の自立に向けた運営支援 ・4年目(①～④)のサークルからの相談への対応 ・7市町の音楽サークル合同での成果発表会(ジョイントコンサート)を企画・運営												
[受益者] 県内の文化芸術団体						[想定される受益者数] 約100団体						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

音楽を活用したまちづくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R7 年度	
事業実施方法	直営									R3 年度			経過年数
補助率	—									4 年			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	17,028				17,028								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		21,000	28,160	44,621	17,028	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽の集い（商工会議所青年部との連携事業）を削減 ・ 4市町サークルの自立に伴う、サポート費用の減 							
2月現計予算額の推移		21,000	23,320	44,621									
決算額の推移		20,582	23,320										
前年度までの主な増減理由	令和4年度 市町ホールを拠点とするアマチュア楽団・バンド等の追加設立による増 令和5年度 楽器体験会の回数を減、仲間づくり支援団体数を減												
[成果指標等の推移]													
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	サークル参加者数	(目標)	(50)	(70)	(70)	(100)	(100)	(100)	音楽活動を行う県民数				
		実績	40	139	167								
活動指標	団体設立数	(目標)	(5)	(7)	(7)	(7)	(7)	(7)	アマチュア音楽サークルの設立				
		実績	4	5	7								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度は新たに小浜市のフルーツサークルと坂井市のギターサークルが始動。 ・ 令和6年3月に開催した成果発表会では6市町の音楽サークルが一堂に会し、約130名のプレーヤーの発表・交流の場となった。 				<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽の集いを削減。 ・ 3年経過した4市町のサークルは自立するとともに、今後の自立に向け3市町のサークルを支援。 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	27,593		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

アートプロジェクト支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくい の活力]				関連する県の計画等	[福井県文化振興プラン(仮称)]						
[解決すべき問題・課題] アートの力を活用した地域の活性化を図るため、県内芸術文化団体を支援する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」を行うNPO認証数(内閣府) 9.1件/人口(45位/47都道府県)						
[事業目的] 県内アーティストや芸術文化団体の活動を広く発信するとともに、専門家による相談窓口を設置し、団体の活動支援を行うことで、アートを活用した地域活性化を図る。												
[事業内容] (1) 相談窓口の設置、相互交流を図る研修会の開催 ・アートプロジェクト(アートを活用した地域振興策)を実施、または実施を検討している企業、団体等が相談できる専門の窓口を設置 ・ワークショップやグループディスカッションなど、団体等の相互交流を図る研修会を開催 ・継続的で自立した芸術活動の実現を支援する地域おこし協力隊を1名から2名に拡充し、情報発信支援や収入源の確保のため補助金等の情報提供や申請書類の作成指導等、文化芸術団体の活動支援を強化する。 (2) アートプロジェクトの支援 ・地域の魅力向上や社会課題の解決につながる、アートを活用したまちづくりに取り組む事業に奨励金を支給												
[受益者] 県内の文化芸術団体						[想定される受益者数] 約100団体						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 アートプロジェクト相談支援事業 芸術文化活動推進事業、若者文化活動応援事業 アーティスト滞在型活動支援事業 (実績) ・アートプロジェクトを実施・検討する団体等への支援 ・文化芸術の振興に寄与する事業や活動に対する補助 ・芸術家が地域資源を生かして行う活動を支援					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

アートプロジェクト支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	43,827	17,591			26,236	文化芸術振興費補助金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				32,037	33,340	43,827	奨励金のうちプロジェクト支援を4件から5件へ増 県内の文化芸術団体の活動をサポートする地域おこし協力隊を1名から2名に拡充					
2月現計予算額の推移				29,214	30,358							
決算額の推移				26,515								
前年度までの 主な増減理由	令和5年度 文化芸術団体の活動を支援する地域おこし協力隊を1名活用											
[成果指標等の推移]												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	芸術文化活動に参加した 県民の数 (目標)			(20,000)	(20,000)	(25,000)	(40,000)	(40,000)	助成事業への参加者数			
	実績			16,014	25,554							
活動指標	事業採択数 (目標)			(13)	(13)	(15)	(15)	(15)	事業採択数 15件			
	実績			32	41							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内文化団体の41のアートプロジェクトを支援。 ・ 地域おこし協力隊1名を委嘱して、文化団体のアートプロジェクトについて、SNSやHPを活用した広報支援を実施。 ・ 文化団体の運営体制強化、相互交流・ネットワーク強化を目的とした研修会を2回開催して、52名が参加。 				<ul style="list-style-type: none"> ・ 芸術文化の振興に高い専門性を持つスタッフ（地域おこし協力隊）を1名から2名に拡充し、芸術文化アドバイザーと連携しながら、県や文化庁等の各種芸術文化事業への助成を支援 				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

世界的なオーケストラ公演誘致による地域活性化事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R6 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営			経過年数					1 年			
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		〔 福井県文化振興プラン(仮称) 〕					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
世界トップレベルの楽団による国内公演は大都市に限定されており、県民が世界的な超一流の音楽に触れる機会がない。						「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」を行うNPO認証数(内閣府) 9.1件/人口(45位/47都道府県)						
[事業目的]												
令和6年度に世界2大楽団であるウィーン・フィルハーモニー管弦楽団による県立音楽堂での公演誘致に合わせ、「ウィーン・イヤー」として、東京や県内各地でのPRやイベント実施により、ウィーン・フィル公演による県外富裕層の誘客強化、県内での機運醸成を図り、地域活性化につなげる。												
[事業内容]												
(1) 歓迎レセプションの開催 ・ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に対するおもてなしや、公演に協賛いただいた企業関係者とウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のメンバーと音楽振興等について懇談を通じた親睦を図るため、歓迎レセプションを開催する。 (2) 教育プログラムの実施 ・次世代を担う子どもたちに世界トップレベルの音楽に触れる機会を提供するため、リハーサルを小中高生向けに公開する。 (3) 観光誘客事業 ・県外富裕層向けに本公演と県内主要観光地と食(越前がに等)を組み合わせたプレミアム旅行商品を企画・販売する。 (4) 西武福井店での特別イベント ・西武福井店1階に特別ブースを設置し、ウィーン関連イベントを開催(公演のパネル展示、ウィーン菓子の販売等) (5) ウィーン・フィル公演のPR・機運醸成事業 ・北陸新幹線を利用した福井への誘客を促すため、東京で本公演のPRを実施 ・ウィーン・フィルの魅力を伝える講演会とミニコンサートを開催												
[受益者] 県民、県外の観光客						[想定される受益者数] 約5,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

世界的なオーケストラ公演誘致による地域活性化事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営													
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	12,940			2,471	10,469	諸収入（講演会収入等）1,600千円 企業版ふるさと納税 871千円								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						12,940								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	集客数 (目標) 実績					(3,000)		(3,000)	ウィーン・フィル公演および関連イベントの集客数					
活動指標	関連イベントの実施 (目標) 実績					(5)		(5)	ウィーン関連イベントの実施回数					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価						
—				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

みんながアートでつながるプロジェクト

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度		
事業実施方法	直営													
補助率	—													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくい の活力]				関連する県の計画等		[福井県文化振興プラン(仮称)]							
[解決すべき問題・課題] ・誰もが創作活動を楽しめる環境を整備し、多様な芸術の意義と価値の理解を推進する必要がある。 ・障がい者アートの制作を指導できる人材が不足している。						[問題・課題を表す客観的データ] 平成27年国勢調査 県の職業別就業者数 小分類「美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者」1,500人/399,450人								
[事業目的] 障がいの有無、世代等に関わらず様々な人たちが創り出したアート作品を一堂に展示する展覧会を開催することで、多様性の意義と価値への理解を促進するとともに、才能ある美術作家を発掘し、育成につなげる。併せて、多様な人々が創造活動に参加できる機会を増やすため、指導やプロデュースができる人材の育成を行う。														
[事業内容] (1) 障がい者を含め、多様な人たちが創り出した作品を展示する展覧会の開催 <想定会場>本 展：県立美術館(12月頃) 選抜展：敦賀駅交流施設など(1月頃) (2) 制作や出展などにアドバイスできる人材の養成 ・人材を養成するための研修会を開催□ (3) 福井のアートを県内外へ発信 ・(1)で展示された作品を県外(ふくい南青山291等)で展示、販売 ・作家との交流イベント開催														
[受益者] 出品アーティスト、展覧会来場者、研修会参加者						[想定される受益者数] 1,000人								
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況						他県の状況								

みんながアートでつながるプロジェクト

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営													
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	10,807					10,807								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					11,572	10,807	・開催方法の見直しによる減額							
2月現計予算額の推移					11,572									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	展示会の来場者数 (目標) 実績	—	—	—	(1,000) 2,110以上	(1,000)	(1,000)	(1,000)	本展と巡回展の参加者数合計					
活動指標	展示会の開催回数 (目標) 実績	—	—	—	(2) 2	(2)	(2)	(2)	本展と巡回展					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価						
・令和6年1月に、県立美術館にて展示会を開催し、2110人が来場した。また、3月にはプラザ万象にて巡回展を開催する。 ・美術関係者、アートファンや障がい福祉関係者、保育関係、親子連れなど、幅広い層に鑑賞いただくことができた。				令和5年度は展示会で展示する作品の対象地域を北陸三県としたが、令和6年度は対象地域を近畿まで拡大し、より幅広いアーティストの作品を展示することにより、さらなる来場者増を図る。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	765			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

サブカルを活用した地域活性化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	負担金			経過年数					2 年			
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくい の活力]				関連する県の計画等	[福井県文化振興プラン (仮称)]						
[解決すべき問題・課題] 福井で多くの人 が楽しみ、福井の 魅力を発信できる サブカルイベント を実施する団 体がない。						[問題・課題を表 す客観的データ] 「学術、文化、 芸術又はスポーツ の振興を図る活 動」を行うNPO 認証数 (内閣府) 9.1件/人口 (45 位/47都道府県)						
[事業目的] 福井の街なか・ 文化施設等での コスプレをはじめ とするサブカル イベントを開催 することで、若 者文化により街 のにぎわい創 出や新幹線開業 後の観光誘客 のための新た なコンテンツと なることを目 指す。												
[事業内容] (1) コスプレ撮影会 内 容：街なか・ 文化施設等に コスプレ撮影 エリアを数か 所設定して、 コスプレイヤー が周遊 会 場：福井駅 周辺 (福井城 址、中央公園 、ソライロテ ラス、グリフ ィス記念館 など) (2) サブカル 関係イベント の開催 内 容：声優に よるトーク ショー、コス プレダンス やファッション ショー、Vtuber によるライブ パフォーマンス 等 会 場：ハピ リンや中央 公園等 その他：ファ ッションショ ーやダンス パフォーマンス 、コスプレ 体験ブース 等によりコス プレイヤー 以外の方も 楽しめるよ うな企画と する												
[受益者] 県内外 のコスプレイ ヤーや若者、 観光客						[想定される 受益者数]						
前事業の有無・ 実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携 状況						他県の状況						

サブカルを活用した地域活性化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	負担金													
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	2,123					2,123								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					3,184	2,123	県の負担割合の減							
2月現計予算額の推移					3,184									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	参加者数 (目標) 実績				(200) 80	(200)	(300)	(500)	イベントの有料参加者数					
活動指標	撮影エリアの設定 (目標) 実績				(3) 3	(3)	(3)	(3)						
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価						
事業による要因 コスプレイヤーの多くは県内参加だったことから、県外への周知や県外から訪れたい魅力コンテンツが不足していた。 外的要因 イベント日に他イベントが多く開催され、来場者が分散した。				・魅力的なゲストや企画など、訪れたいコンテンツを充実させ、コスプレイヤーやサブカルに興味のある若者等への訴求力を高める。 ・民間への段階的移行のため県の負担割合を減額。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,061			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

国際機関・国内美術系大学との連携による文化交流事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政 策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		〔 福井県文化振興プラン(仮称) 〕					
[解決すべき問題・課題] 新幹線開業後を見据え、本県ならではの歴史的・文化的な地域資源を活かした交流拠点を各地に作っていく必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」を行うNPO認証数(内閣府) 9.1件/人口(45位/47都道府県)						
[事業目的] 国際機関や国内美術系大学等と連携してアーティストを招聘し、地域資源を活かした創作活動を通して地域住民との文化交流を行う「世界の文化交流拠点地域」の実現を目指す。												
[事業内容] 国内外アーティストが歴史的、文化的な地域資源あふれる地域に滞在し、創作活動や地域住民との交流、魅力発信を展開 【連携機関】 ヴィラ九条山(京都府京都市 フランスのヨーロッパ・外務省の文化機関)・フランス大使館 国内の美術系大学 【場 所】 若狭熊川宿(平成8年重要伝統的建造物群保存地区選定、平成27年日本遺産認定) 【時 期】 令和6年9月～11月(うち滞在制作期間2週間、展示期間40日間) 【参 加 者】 国内外からのアーティストなど4人(想定) 【活動内容】 ・古民家を活用したまちなかの施設を創作拠点とし、招聘アーティストが若狭町熊川の歴史・文化をリサーチし、地域の魅力や自身の創作活動に関する情報を、広く国内外へ発信 ・公開制作やワークショップ、アーティストトークなど身近な場所で地域住民との交流機会を創出 【実施主体】 熊川宿若狭芸術祭実行委員会((公財)福井県文化振興事業団、(特非)若狭美&Bネット、県、若狭町)												
[受益者] 滞在アーティスト、参加学生、ボランティア、公開制作・展覧会への来場者						[想定される受益者数] 500名						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

国際機関・国内美術系大学との連携による文化交流事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	負担金													
補助率	—													
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	4,932					4,932								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移						6,056	4,932	・関係市町から事業費の支援を得られたことによる減額						
2月現計予算額の推移						6,056								
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	本事業における交流者数 (目標) 実績		—	—	—	(500) 1,265	(500)	(500)	(500)	滞在アーティスト数、交流した学生数、ボランティア数、公開制作・ 展覧会への来場者数				
活動指標	アーティストインレジデ ンス実施回数 (目標) 実績		—	—	—	(1) 1	(1)	(1)	(1)	アーティストインレジデンス実施回数				
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価						実績を踏まえた令和6年度の変更点			事業評価					
R5年10月に熊川宿にてアーティストインレジデンスを1回開催し、 アーティスト3名、美術評論家1名、公開制作・展覧会への来場者数 1231名、ボランティアのべ30名、合計1265名の交流数となった。						・事業の実施主体を、県から実行委員会に変更。			<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,124		
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

国際音楽交歓コンサート2024開催事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R6 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、負担金								経過年数	1 年		
補助率	—								事業年度	1 年		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[福井県文化振興プラン(仮称)]					
[解決すべき問題・課題] 国際的にも一流の海外アーティストによる公演は限られており、県民が気軽に一流の音楽に親しめる機会が少ない。						[問題・課題を表す客観的データ] 「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」を行うNPO認証数(内閣府) 9.1件/人口(45位/47都道府県)						
[事業目的] 公益社団法人国際音楽交流協会と共催で、一流の国際的音楽家によるクラシックコンサートを開催し、より多くの県民が一流の音楽に親しむ機会を提供する。												
[事業内容] ○一流の国際的音楽家によるコンサートの開催 内 容：ヴァイオリン・チェロ・ピアノ・民族楽器・声楽等による、親しみやすい曲目によるコンサート 会 場：県立音楽堂小ホール												
[受益者] 県内のクラシック音楽ファンやクラシック初心者の子どもなど						[想定される受益者数] 約600人						
前事業の有無・実績		■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

国際音楽交歓コンサート2024開催事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、負担金													
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	4,581			183	4,398	諸収入（コンサート観覧料）183千円								
[予算額の推移等]														
区 分		令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和5年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						4,581								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	観覧者数 (目標) 実績					(366)		(366)	小ホール定員の60%					
活動指標	広報媒体数 (目標) 実績					(4)		(4)	コンサートの開催について取り上げる広報媒体数					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
—					—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

文化振興プラン策定事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	直営										
補助率	—										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[]				
[解決すべき問題・課題] 平成29年改正の文化芸術基本法により、地方公共団体は、地方の実情に即した文化芸術の推進に関する計画を定めるよう務めることとなっている。 R4年4月現在で、41都道府県が策定済み、福井県を含む6県が未策定						[問題・課題を表す客観的データ] 「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」を行うNPO認証数(内閣府) 9.1件/人口(45位/47都道府県)					
[事業目的] 昨今の文化観光推進法制定や博物館法改正に見られるように、文化振興を観光振興や地域の活性化につなげようとする動きの中で、地域の実情を反映し、より有効な文化政策を展開・推進するため「文化振興プラン」を作成したい。											
[事業内容] (1) 文化振興プラン策定検討委員会の開催 ・有識者、県内文化関係団体、芸術家等による策定検討委員会の開催(年3回) ・分野ごとの関係団体等、市町担当者、文化施設管理者等との意見交換会の開催(計4回) (2) 文化振興プラン作成・広報											
[受益者] 県民						[想定される受益者数]					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況					

文化振興プラン策定事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額					0							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					2,187							
2月現計予算額の推移					2,187							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	策定に携わった人数 (目標) 実績				(—)	(—)		(—)	文化振興プラン策定を目的とするため、目標数値の設定にはなじまない。			
活動指標	会議開催数 (目標) 実績				(7) 14	(—)		(7) 14				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
有識者による策定委員会を3回開催するとともに、意見交換会・アンケートなどにより、広く県民の意見を聴取し、プランに反映した。令和5年度に振興プランを策定するため、事業完了。				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	2,187	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

一乗谷朝倉氏遺跡 フィールドミュージアムデザイン事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子								
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務	事業区分	■ 実行予算	事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度							
事業実施方法	直営																		
補助率	-																		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(想像力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[一乗谷朝倉氏遺跡再整備計画]												
[解決すべき問題・課題] 博物館の開館を契機に、博物館を含む遺跡全体を1つのエリアと捉え、「日本最大の戦国フィールドミュージアム」としてより一層魅力を向上させる。						[問題・課題を表す客観的データ] 一乗谷朝倉氏遺跡博物館 令和4年10月開館 (一乗谷朝倉氏遺跡博物館来館者数 R4.10~R5.9: 180千人) (旧資料館見学者数 H30: 64千人 R元: 88千人 R2: 87千人 R3: 21千人)													
[事業目的] 県内デザイナーの監修を得て、新たな視点による誘客拡大を図る。																			
[事業内容] (1) 「戦国景観」の創出と快適な回遊環境の整備 ・ 山林部、山裾部の景観改善 ・ パークアンドライドの促進 (2) 誘客事業へのデザイン視点の導入 ・ デザイナーによる監修 ・ 案内サインの統一的整備 ・ 遺跡での仕掛けづくり ・ 博物館の全国PR																			
[受益者] 県内外の観光客						[想定される受益者数] 823,200人(令和4年度実績)													
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 日本最大の戦国城下町「一乗谷ミュージアム」化推進事業 (実績) 平成27年度から事業を開始し、令和4年度に博物館の整備が完了					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)												
市町との連携状況	・ 遺跡を管理する福井市と協力してイベント、PR等を実施					他県の状況													

一乗谷朝倉氏遺跡 フィールドミュージアムデザイン事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R8 年度
事業実施方法	直営									R5 年度 経過年数		
補助率	-									2 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	38,520	12,540			25,980	文化観光推進法補助金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				46,926	38,520	・月見やぐらの解体撤去の完了 4,663千円 ・日射量等測定機器購入の完了 5,032千円						
2月現計予算額の推移				46,926								
決算額の推移												
前年度までの主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分	令和元年度	2年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	一乗谷朝倉氏遺跡博物館 入館者数 (目標)			(200,000)	(200,000)		(200,000)	一乗谷朝倉氏遺跡博物館入館者数 20万人/年				
	実績			180,006								
活動指標	イベント実施回数 (目標)			(2)	(1)			遺跡でのイベント実施回数：1回以上/年				
	実績			2								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
・事業による要因 若年層、ファミリー層への認知度が50代～60代に比べて低い。 ・外的要因 記録的な夏の猛暑により来訪者数の伸びが鈍化したと考える。				県デザイナー協会の意見も踏まえ、既存の遺跡や博物館の魅力 を若年層やファミリー層に分かりやすく伝える項目 (写真を活用したPR等)に絞り重点的に実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	8,406	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

一乗谷朝倉氏遺跡活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H16 年度 経過年数 20 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線開業を迎え、アクセス環境の向上や外国人観光客を含む遺跡来訪来訪者に対する案内サービスの充実化に取り組む。						[問題・課題を表す客観的データ] 一乗谷朝倉氏遺跡見学者数(観光統計) R元: 1,057千人 R2: 851千人 R3: 568千人 R4: 823千人						
[事業目的] 北陸新幹線福井延伸などを迎え、日本で唯一戦国城下町の遺構が手つかずのまま残る「特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡」を積極的に活用し、国内外への発信の強化、案内サービスの一層の充実を図ることで、遺跡への誘客を促進する。												
[事業内容] (1) 山城の観光活用 ・山城案内ガイドの養成・活動経費 (2) 山城を含めた遺跡内アクセス環境の向上 ・山城登山道アクセス環境の整備 ・福井駅～朝倉氏遺跡間バスの運行 ・遺跡ガイドマップの作製 (3) 案内・サービスの充実 ・来訪者のスマートフォンやタブレット端末などを使った案内 ・一乗谷ポータルサイトや遺跡内Wi-Fiの運用・保守 ・外国人案内対応端末機器の導入 (4) 戦国城下町生活再現の実施												
[受益者] 県内外の観光客						[想定される受益者数] 823,200人(令和4年度実績)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 一乗谷朝倉氏遺跡受入環境整備事業 (役割分担) 一乗谷朝倉氏遺跡受入環境整備支援事業では、令和4年10月に開館した「一乗谷朝倉氏博物館」への誘客、令和6年の北陸新幹線福井開通など大きな契機を迎えるにあたり、令和2年度～令和6年度の5年間にわたり観光客の受入環境整備を強化する。					
市町との連携状況	県と福井市が一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会の構成員となっており、協働して実施				他県の状況							

一乗谷朝倉氏遺跡活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業開始年度	H16 年度 経過年数 20 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	9,000				9,000							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和 6 年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	7,000	7,000	7,000	9,000	9,000							
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移	7,000	7,000	7,000	9,000								
決 算 額 の 推 移	7,000	7,000	7,000									
前年度までの 主な増減理由	一乗谷朝倉氏遺跡受入環境整備支援事業を活用し、遺跡周遊バスを運行予定であったが、文化庁の補助金が活用できないこととなったため県・市200万円ずつ増額し賄うこととした。											
[成果指標等の推移]												
区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	一乗谷朝倉氏遺跡来訪者 (目標)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)		(1,000,000)	遺跡来訪者100万人／年度を目指す			
	実績	780,935	549,582	823,200								
活動指標	生活再現実施日数 (目標)	(50)	(50)	(50)	(50)	(50)	(50)	(50)	実施日50日以上を維持			
	実績	12	25	66	70							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和 6 年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業による要因 遺跡の発信力の強化やアクセス環境の向上、案内サービスが充実してきたものの、若年層やファミリー層に対する訴求が不十分だったと考える。 ・ 外的要因 記録的な夏の猛暑により遺跡来訪者数の伸びが鈍化したと考える。 				博物館の開館から1年以上が経過し、北陸新幹線の福井開業を迎えるなか、若年層やファミリー層に対する案内・誘客をより強化し、引き続き成果指標の達成を目指す。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

一乗谷朝倉氏遺跡の保存技術の確立に向けた連携研究事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営										
補助率	-										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(想像力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[福井県観光新戦略]				
[解決すべき問題・課題] 令和元年12月に締結した国立文化財機構奈良文化財研究所との協定に基づき連携研究を実施し、劣化の進む一乗谷朝倉氏遺跡の保存技術を確立することにより、遺跡を確実に保存し、露出展示を続けていく必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 一乗谷朝倉氏遺跡見学者数(観光統計) R元: 1,057千人 R2: 851千人 R3: 568千人 R4: 823千人					
[事業目的] 特別史跡・特別名勝である一乗谷朝倉氏遺跡を永続的に保存・活用し続け、さらには全国の史跡・名勝等の保存・活用に貢献する。											
[事業内容] 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所との共同研究協定締結し、保存技術の確立を目指す。 ・奈良文化財研究所の研究員等からの指導 ・解析用データの取得(水位変動、気象観測、石材強度、石材硬度等)											
[受益者] 県内外の観光客						[想定される受益者数] 823,200人(令和4年度実績)					
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (実績) (~H31) ・気象観測等データ取得 ・劣化状況記録	事業名 日本最大の戦国城下町「一乗谷ミュージアム」化推進事業(日本トップレベルの中世都市遺跡研究の拠点化推進事業)				関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況					

一乗谷朝倉氏遺跡の保存技術の確立に向けた連携研究事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等				
予算額	22,443		11,221			11,222		地方創生推進交付金				
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		17,178	21,883	25,811	24,905	22,443						
2月現計予算額の推移		16,289	21,883	25,811	24,059							
決算額の推移		13,252	20,845	22,823								
前年度までの 主な増減理由	調査・研究の進捗に伴い必要な調査項目が追加されたこと、加えて、人件費および資材費が高騰したため											
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	一乗谷朝倉氏遺跡来訪者 (目標)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)		(1,000,000)				
	実績	780,935	549,582	823,200								
活動指標	調査項目数 (目標)	(8)	(8)	(8)	(8)	(8)	(8)	(8)				
	実績	8	8	8	8							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
・事業による要因 特別史跡であることから、調査などの実施については、十分な専門家指導が必要があり時間を要する。 ・外的要因 遺跡の来訪者数は、記録的な夏の猛暑により来訪者数の伸びが鈍化したと考える。				保存技術の確立を目指し、引き続き調査・研究を実施する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

一乗谷朝倉氏遺跡受入環境整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会				事務区分	■ 自治事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	-											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国内外の観光客に対する受入環境の整備が不十分である。 ・ 来訪者の滞在時間を延長させるような、博物館の展示物と連携した新たな体験メニューの提供が必要である。 						一乗谷朝倉氏遺跡見学者数（観光統計） R元：1,057千人 R2：851千人 R3:568千人 R4：823千人						
[事業目的]												
令和2年5年に博物館等文化施設を中核に周辺地域の観光を推進する「文化観光推進法」が施行され、これに併せて創設された国の補助を活用して朝倉氏遺跡の受入環境の整備および誘客を拡大に取り組む。												
[事業内容]												
(1) 便益施設充実 博物館から遺跡までの移動経路途中にトイレを設置し、徒歩や自転車で移動する来訪者の周遊環境を改善 (2) 交通手段充実 博物館と遺跡を両方見学する来訪者の利便性の向上およびパークアンドバスライドの推進に向けた交通手段の整備 (3) 体験メニュー充実事業 遺跡から出土した土器の復元品を、土器パズルとして制作。遺跡や博物館でのイベントで活用し、組立てを通して当時の生活を学ぶことができる体験メニューを実施												
[受益者] 県内外の観光客						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 一乗谷朝倉氏遺跡活用推進事業 (役割分担) 一乗谷朝倉氏遺跡活用推進事業では、魅力発信強化のための活動を持続的に行っているが、一乗谷朝倉氏遺跡受入環境整備事業では、新博物館開館や北陸新幹線福井開業に向け、令和2～6年度の5年間にわたり、受入環境整備を強化して行う。					
市町との連携状況	県と福井市が一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会の構成員となっており、協働して実施。					他県の状況						

一乗谷朝倉氏遺跡受入環境整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,664				3,664							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和 6 年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		10,000	8,000	8,000	3,664	国庫補助事業の対象となる総事業費が減額となるため。						
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移	2,984	10,000	8,000	8,000								
決 算 額 の 推 移	2,984	10,000	8,000									
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一乗谷朝倉氏遺跡博物館の開館に向け、受入環境整備に係る主な事業は令和3年度に実施したため、令和3年度の予算が増額した。 ・ 令和4年度は一乗谷朝倉氏遺跡博物館開館前の半年で整備できる事業および誘客拡大に向けた事業を実施予定であるため、予算が減額した。 											
[成果指標等の推移]												
区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	一乗谷朝倉氏遺跡来訪者 (目標)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	遺跡来訪者100万人／年度を目指す			
	実績	780,935	549,582	823,200								
活動指標	観光団体、地元団体、関係事業者との協議回数 (目標)	(5)	(5)	(5)	(5)	(10)	(10)	(10)	協議回数10回を目指す			
	実績	5	5	5	5							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
事業による要因 遺跡の発信力の強化やアクセス環境の向上、案内サービスが充実してきたこともあり、遺跡への来訪者は目標値に近づいている。来訪者の年齢構成としては60代以上が多く、若年層の来訪者数が少ない。 外的要因 記録的な夏の猛暑により来訪者数の伸びが鈍化したと考える。				現段階でも不足している、来訪者の周遊環境の改善や体験メニューを充実させ、歴史好きだけでなく若年層やファミリー層への訴求を強化する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	4,336	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

北陸新幹線福井・敦賀開業を活かした越美北線魅力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光資源としての越美北線の魅力向上 ・ 越美北線沿線地域に所在する観光資源の磨き上げおよび周遊滞在促進 ・ 国内外への情報発信による誘客促進 						越美北線利用者数 243,773人 (R2)						
[事業目的]												
北陸新幹線福井・敦賀開業を迎え、県外からの来訪者の増加が見込まれるなか、越美北線の観光利用の促進および沿線観光の振興を図るため、越美北線の魅力を高める。												
[事業内容]												
(1) 戦国列車ツアーの催行 <ul style="list-style-type: none"> ・ 福井駅で新幹線から降車した観光客を一乗谷へ誘導するため、戦国時代の雰囲気味わえ、列車に乗ること自体を楽しめる演出を行う「戦国列車」を利用したツアーを催行 ・ 一乗谷ならではの体験メニューを組み込んだ外国人向けのモニターツアーを行い、インバウンドの推進を図る (2) 越美北線ガイドアプリの保守・運用 <ul style="list-style-type: none"> ・ スタンプラリーや割引クーポン機能の拡充、みんなのARTVの運用、沿線観光情報・旅のお供コンテンツの追加 ・ 県外からの来訪者をメインターゲットとしたアプリの広報 (3) 越美北線を利用した、県内博物館や美術館を巡る旅行企画への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内博物館・美術館周遊バスツアー造成支援事業に、越美北線の利用加算と記念グッズの進呈を追加 												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 一乗谷朝倉氏遺跡博物館(仮称)開館記念事業 (実績) 戦国列車の運行 越美北線ARナビアプリの制作					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ JR西日本金沢支社・大野市・福井市・県の4者で「越美北線観光利用促進協議会」を組織し、情報共有・実施事業について協議 ・ 同4者が協力して事業を推進、統一的に情報を発信してPR 					他県の状況						

北陸新幹線福井・敦賀開業を活かした越美北線魅力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等				
予算額	10,534					10,534						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					25,098	10,534	令和5年度中においてロゴマーク制作事業は観光誘客課へ移管、御乗印帳制作事業は事業完了となるため。					
2月現計予算額の推移					25,908							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	戦国列車ツアー満足度 (目標)				(80)	(80)		(80)	戦国列車ツアー参加者の満足度80%を目指す (5段階評価)			
	実績				89							
活動指標	御乗印帳販売数 (目標)				(50)	(750)		(3,000)	御乗印帳3,000冊の完売を目指す			
	実績											
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点			事業評価				
朝倉氏遺跡博物館での夕食をはじめとする、プレミアムな体験を提供するツアーを計3回催行した。 御乗印帳の販売を北陸新幹線福井開業に合わせ、3月16日から開始し、5年間で3,000冊の完売を目指す。					外国人を対象にしたツアーの企画やアプリの周知を県外からの来訪者に効果的に行い、越美北線や沿線観光の魅力を県外や国外にも広く発信する。			<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	15,374	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

博物館・美術館のあり方検討事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営										
補助率	-										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(想像力)]	政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]	関連する県の計画等 []								
[解決すべき問題・課題] 博物館法改正（令和5年4月1日施行）の趣旨を踏まえ、新たに求められる博物館・美術館のあり方を検討し、社会的・地域的課題（人口減少、少子高齢など）に効率的・効果的に対応していくための必要な機能の強化を図る。						[問題・課題を表す客観的データ] 文化芸術の範囲を拡大し、まちづくり・国際交流、観光・産業、福祉等との連携を範疇とした文化芸術基本法の改正等を背景とした博物館法（令和5年4月1日施行）の改正					
[事業目的] 博物館法改正（令和5年4月1日施行）の趣旨を踏まえ、新たに求められる博物館・美術館のあり方を検討し、社会的・地域的課題（人口減少、少子高齢など）に効率的・効果的に対応していくための必要な機能の強化を図る。											
[事業内容] （1）有識者からなる博物館・美術館のあり方検討会の開催 （2）検討会において、学芸員を含めた博物館・美術館資源の活用による地域課題解決への対応策、必要な機能強化をまとめる <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインの一層推進などハード面の課題への計画的対応 ・散逸する地域の宝を受入・保管、展示公開する機能（「共用収蔵棟」や「県民ギャラリー」など収蔵・公開スペースの拡充） ・県民の主体的活動を支援する機能（県民活動のプラットフォーム）の構築 ・民間資金やノウハウを取り入れた運営サービス・利便性の一層の向上 ・収蔵資料のデジタル・アーカイブ化の加速、教育や福祉等分野へのアーカイブ活用 ・多言語解説対応強化、訪日外国人も楽しめる歴史観光コンテンツ充実など文化観光の推進など 											
[受益者] 県内外の博物館・美術館利用者						[想定される受益者数] 147,654人（令和4年度実績）					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況					

博物館・美術館のあり方検討事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	-															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	5,202				5,202											
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移						5,202										
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	(目標) 実績					(-)	(-)	(-)	施設の在り方を検討する事業であり、数値目標の設定になじまない							
活動指標	あり方検討会の開催 (目標) 実績					(4)	(4)	(4)								
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価								
-				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

博物館・美術館の専門職員による地域連携事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R16 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(想像力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくい の活力]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 大本山永平寺に所蔵されている古文書、仏像等は、本県の学術振興と発展に寄与するものでありながら、調査体制が整っていないこともあり、未調査のままとなっているものが膨大に存在している。						[問題・課題を表す客観的データ] 永平寺の所蔵古文書点数：9200点（把握されているもののみ） 『永平寺資料』：既刊7巻（古文書に関するものは3巻、江戸時代中期まで） 永平寺を訪れる観光客：522千人（令和元年）						
[事業目的] 立博物館施設の学芸員や県内外の関係大学、外部専門家からなる共同調査・研究の体制を構築したうえで、永平寺との共同調査を行い、保存の策を講じ、調査・研究の成果を共有し、広く県民や研究者に公開することを目指す。												
[事業内容] 福井県と関係大学等が連携し、永平寺所蔵の古文書、典籍、仏像等を調査し、その成果を博物館・美術館における企画展やシンポジウム等で県民や社会に還元する。また、調査で得られた知見については、インターネット等で公開することを目指す。そのために、以下の作業、調査を行う。 ①永平寺所蔵資料の古文書リストのデジタル化および写真のスキャンニング ②永平寺所蔵資料の借用と清掃、撮影 ③古文書リストにある資料の確認と未登録の古文書のリスト作成 ④研究成果の展示やシンポジウムの開催による県民還元												
[受益者] 大本山永平寺・曹洞宗寺院・県内外観光者・国内外歴史研究者						[想定される受益者数] 600,000人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

博物館・美術館の専門職員による地域連携事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子					
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業開始年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R16 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	-															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	4,979				4,979											
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移						4,979										
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区分		令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	年間調査資料数 (目標) 実績					(14,400)	(14,400)	(14,400)	1日100点×144日							
活動指標	調査会開催数 (目標) 実績					(12)	(12)	(12)	各月1回							
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点					事業評価						
-					-					<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 見直し額						
										<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了						
										<input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他						

新幹線開業を活かした福井の文化財・伝統工芸品の魅力発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
福井県内には複数の文化施設があるが、立地の問題もあり、連携して福井の文化をアピールする機会がなく、文化施設同士の相互誘客の仕組みが整っていない						文化施設の年間来館者数 (R4) : 456,122人 美術館88,677人、歴博58,997人、若博13,602人、朝博200,000人(年間目標入館者数)、陶芸館・古窯博94,846人(越前陶芸村で開催されたイベント参加者を含む)						
[事業目的]												
美術館、歴史博物館、一乗谷朝倉氏遺跡博物館、若狭歴史博物館、陶芸館・越前古窯博物館を中心に県内博物館同士が連携した広域広報を展開することで、個々の館の来客層である歴史ファン・美術ファン・クラフトファンをつなぎ、各館相互誘客を促進する。												
[事業内容]												
<p>① 共通観覧券(パスポート)・クーポンの作成により県立5館連携のもと、幅広く、奥深い福井の文化を総合的に没入体験する機会を創出する</p> <p>② 県立5館の所有する福井の文化財・伝統工芸品の魅力を伝えるPR物や各館営業グッズを作成し、文化財・伝統工芸品の持つストーリーを発信することで、福井の文化の価値を高める</p> <p>③ 北陸新幹線開業に合わせ、共通観覧券の周知を根幹に置いた県内外にまたがる広域広報を展開する</p> <p>④ 旅行者による県内博物館・美術館周遊バスツアー運行に対する支援により、市町を超えた博物館同士の連携を強化し、さらに幅広く奥深い福井の文化体験の場を提供する機会を創出する</p>												
[受益者] 県内・県外観光客						[想定される受益者数] 550,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

新幹線開業を活かした福井の文化財・伝統工芸品の魅力発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	10,743			(諸収入) 4,615	6,128	共通観覧券販売料						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					12,395	10,743	令和5年度予算にて、共通観覧券の作成を行ったため、共通観覧券の作成費用が不要となった。					
2月現計予算額の推移					12,395							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	5館来館者数 (目標) 実績					(550,000)			(256,000(美術館・歴博・若博・陶芸館・古窯博R4実績)+200,000(朝博年間来館者目標数))×1.2≒550,000			
活動指標	共通観覧券販売部数 (目標) 実績				(400)	(4,600)			5,000部(共通観覧券制作部数)÷13カ月(R5,6販売期間)×12カ月(R6販売期間)≒4600部			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点			事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・共通観覧券を令和6年3月1日から販売開始 ・各館ミュージアムショップや福井新聞オンラインストア、県内書店等の、取り扱い店舗でのポップの設置や、新聞広告を掲載により広報を実施 					周辺施設を含め、各館を楽しみながら周遊できるモデルコースを提示するため、対外的に影響のある人材を活用して広報する。共通観覧券の多様な販路を確保する。			<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,652	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

ふくいのミュージアム連携事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、負担金										
補助率	-										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)]	政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]	関連する県の計画等 []								
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]					
県内全域に分布する博物館・美術館において、これまで歴史や文化、博物館・美術館に興味・関心がなかった人も訪れてみたくなるような働きかけが必要						県内博物館・美術館数 82館					
[事業目的]											
県内の博物館・美術館の連携を支援し、県民の博物館・美術館に対する興味関心の向上を図るとともに、博物館・美術館を核とした県内周遊を促進。											
[事業内容]											
(1) 情報発信支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 福井県博物館協議会ポータルサイト「FUKUI MUSEUMS (ホームページ)」の運営支援 ・ SNSや紙媒体等による広報支援。 (2) 嶺南地域住民に対する文化交流機会の拡大支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 嶺南地域から嶺北の各文化施設へ向かう無料送迎バス「フレンドリーアート号」の運行(年間12便) 											
[受益者] 県民、県内外観光客						[想定される受益者数]					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	ポータルサイトに市の文化施設を記載					他県の状況					

ふくいのミュージアム連携事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、負担金											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	2,784				2,784							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				3,666	2,213	2,784	燃料費や人件費の高騰により、バス運行費用が増加					
2月現計予算額の推移				3,666	2,213							
決算額の推移				1,953								
前年度までの 主な増減理由	R4→R5の減少理由を記載											
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	送迎バス利用者数	(目標)		(240)	(240)	(240)		(240)	音楽堂行(中型6便) 文化施設行(中型6便、7台)			
		実績		102	144							
活動指標	送迎バス運行便数	(目標)		(12)	(12)	(12)		(12)	運行台数12便/年			
		実績		9	12							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
・事業による要因 恐竜博物館や各博物館・美術館の特別展、全国的に有名な演奏会などでは多くの参加者があったが、展示・演奏会によっては内容がイメージしづらいものもあったため、参加者が少なくなる傾向があった。 ・外的要因 夏期の猛暑などの気候により参加者が少なくなった。				令和6年度は新幹線開業記念の企画展が開催されるため、各館の企画展を中心に魅力的な内容の展示を組み合わせ、内容などの周知も図るとともに、キャンセル待ちが発生するような人気の展示・演奏会については、バスのサイズや台数を変更することで参加者の増加を目指す。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

新幹線開業時ミュージアム誘客拡大事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部外	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子					
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R6 年度						
事業実施方法	直営、負担金															
補助率	-															
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[]									
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]										
北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた、文化施設における利用者受入環境の整備						文化施設の年間来館者数(R4):361,276人 美術館88,677人、歴博58,997人、若博13,602人、朝博200,000人(年間目標入館者数)										
[事業目的]																
文化施設において、石川県・富山県と足並みを揃えたインバウンド対応を行い、北陸3県にまたがる文化観光ツールを整備する。																
[事業内容]																
・文化施設のインバウンド対応強化事業:文化施設において、石川県・富山県と足並みを揃えたインバウンド対応を行い、北陸3県にまたがる文化観光ツールを整備する。																
[受益者] 各館展覧会観覧者						[想定される受益者数] 234,000人										
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)									
市町との連携状況						他県の状況										

新幹線開業時ミュージアム誘客拡大事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部外	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	直営、負担金					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	-															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	5,226					5,226										
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移					30,131	5,226	5年度は、新幹線開業記念特別展(6年度実施)の準備事業であったため減 (各館の企画展開催費用は各館企画展事業で計上)									
2月現計予算額の推移					30,131											
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	企画展観覧者数(4館合計) (目標) 実績				(23,400)	(234,000)		(234,000)	美術館22,500、歴博9,000、若博2,800、朝博200,000							
活動指標	企画展開催数 (目標) 実績				(9)	(9)		(9)	美術館3本、歴博2本、若博1本、朝博3本(テーマ展含む)							
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点			事業評価								
美術館、歴史博物館、若狭歴史博物館、一乗谷朝倉氏遺跡博物館ともに、当初の予定どおりの企画展の準備事業を完了した。					本事業において、令和6年度の新幹線開業記念特別展の準備事業が完了したため、各館の企画展開催費用は各館企画展事業に計上			<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	24,905					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

歴史博物館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	S59 年度 経過年数 41 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくい の活力]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 常設展示だけでは伝えきれない福井の歴史、民俗、文化について、県内外の他館の資料も用いながら来館者へわかりやすく伝える。						[問題・課題を表す客観的データ] 企画展観覧者数 R3 : 5,771人 R4 : 5,936人 R5 : 13,053人						
[事業目的] 資料収集、調査研究の成果をもとに展示、公開することで、福井県の歴史、民俗、文化を県民および県内外からの来館者へわかりやすく伝え、歴史文化への関心を高める。												
[事業内容] (1) 企画展開催事業 夏季特別展「結城秀康と福井藩」(仮) 令和6年7月20日(土)～8月25日(日) 秋季特別展「越前・曹洞禅との出会い(仮)」 令和6年9月21日(土)～11月4日(月) フレキシブル展示 (2) 企画展準備事業 令和7年度以降の企画展開催のための調査、資料借用のための交渉を実施												
[受益者] 県内外からの来館者						[想定される受益者数] 25,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 歴史博物館資料収集事業、歴史博物館調査研究事業 (役割分担) ・歴史博物館資料収集事業 資料収集事業で収集した資料を企画展等で公開 ・歴史博物館調査研究事業 調査研究事業での成果を企画展等で公開					
市町との連携状況						他県の状況						

歴史博物館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	S59 年度 経過年数 41 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	35,730			使用料 諸収入 9,636	26,094	観覧料2,608千円、図録販賦料1,400千円						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		17,232	15,311	17,075	18,644	35,730	新幹線開業に伴い企画展の内容充実のため増額					
2月現計予算額の推移		18,032	15,311	17,075	18,644							
決算額の推移		14,110	13,243	12,976								
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・ H30年度 幕末明治福井150年博メイン会場の展示として実施 ・ R2年度 会計年度任用職員経費の減（政策推進Gで要求） ・ R3年度 企画展の内容に基づく減額 ・ R4年度 企画展の内容に基づく減額 ・ R5年度 企画展の内容に基づく増額 										
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	企画展観覧者数	(目標)	(8,500)	(9,000)	(8,500)	(9,000)	(9,000)			夏季特別展 5,000人 秋季特別展 4,000人		
		実績	6,555	5,771	5,936	6,405						
活動指標	企画展開催件数	(目標)	(2)	(2)	(2)	(2)			企画展2回開催			
		実績	2	2	2	2						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業による要因 県外からの観光客を呼び込むための広報が不足していた。 ・ 外的要因 記録的な夏の猛暑により来訪者数の伸びが鈍化したと考える。 				新幹線開業を記念して、集客力のある企画展を開催するため、福井駅からバスで移動する観光客向けにコミュニティバスを対象としたラッピング広告を行うなど、広報に努め、多くの来館者を呼び込む。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

若狭歴史博物館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	S57 年度 経過年数 43 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
常設展示だけでは伝えきれない福井県若狭地方の歴史、民俗、文化について、県内外の資料も用いながら来館者へわかりやすく伝える。						R3「森と出会った縄文人」入館者数 2,213人 R4「中世の若狭のまち」入館者数 1,248人 R5「近代若狭観光史」入館者数 1,160人						
[事業目的]												
調査研究の成果をもとに若狭地方の歴史・民俗・文化をわかりやすく公開・紹介することで、県内外からの来館者や地域の方々の歴史文化への関心を高める。												
[事業内容]												
(1) 企画展開催事業 (16,765千円) 特別展「『解体新書』ができるまで(仮)」 令和6年7月20日(土)～8月18日(日) 特別展「陰陽師とは何者か(仮)」 令和6年10月5日(土)～11月4日(月) 若狭地方の歴史、民族、文化についての調査を行い、企画展や講演会、講座として、広く県内外に紹介し、地域文化の高揚を図る。 (2) 若狭のみほとけフレキシブル (4,734千円) 仏像公開に特化した展示室において、継続して定期的に仏像の展示替えを実施												
[受益者] 県内外からの来館者						[想定される受益者数] 1,160人(令和5年度実績)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 若狭歴史博物館調査研究事業 (役割分担) ・若狭歴史博物館調査研究事業 研究事業での成果を企画展等で公開					
市町との連携状況						他県の状況						

若狭歴史博物館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	S57 年度 経過年数 43 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	21,499			使用料 諸収入 3,334	18,165	観覧料、図録						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		13,684	11,970	9,857	12,806	21,499	新幹線開業に伴い企画展回数増による増額					
2月現計予算額の推移		12,154	11,159	9,768	12,806							
決算額の推移		11,437	10,782	9,768								
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・ H27年度 若狭歴史博物館開館1周年記念特別展を開催 ・ H31年度 リニューアル5周年記念特別展を開催 ・ R2年度 会計年度任用職員経費を政策推進Gで要求 ・ R3年度 企画展の内容に基づく減額 ・ R4年度 企画展の内容に基づく減額 ・ R5年度 企画展の内容に基づく増額 										
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	企画展観覧者数	(目標)	(3,000)	(2,800)	(2,800)	(2,800)	(9,000)		「『解体新書』ができるまで(仮)」 4,000人 「陰陽師とは何者か(仮)」 5,000人			
		実績	2,397	2,213	1,245	1,160						
活動指標	企画展開催件数	(目標)	(1)	(1)	(1)	(1)	(2)		企画展2回開催			
		実績	1	1	1	1						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業による要因 若狭地方の歴史、民俗、文化について興味が薄い層の集客が不十分だった。 ・ 外的要因 記録的な夏の猛暑により来訪者数の伸びが鈍化したと考える。 				新幹線開業を迎え、福井県にゆかりがあり、かつ全国からの観光客を呼び込める集客力のある題材魅力的な特別展を開催するとともに、引き続きHPやSNS等で発信するほか、ミュージアムパスポートの活用等により誘客促進を図る。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

県立美術館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	福井県、実行委員会				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業開始年度	S52 年度 経過年数 48 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	直営、負担金											
補助率	—											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
普段接することのできない美術作品の魅力を来館者へわかりやすく伝える。						企画展観覧者数 R3 : 53,198人 R4 : 42,770人 R5 : 26,933人						
[事業目的]												
国内外の優れた美術品や県内の美術作品を公開・紹介することで、県民が一流の名品を鑑賞する機会を拡大する												
[事業内容]												
(1) 企画展開催事業 北陸新幹線開業記念「横山大観展」 令和6年4月26日(金)～6月2日(日) 「寛永寺展・院展」 令和6年6月21日(金)～7月7日(日) 「エジプト美術館展」 令和6年7月20日(土)～9月1日(日) 北陸新幹線開業記念「菱田春草展」 令和6年9月15日(日)～11月4日(月)												
(2) 企画展準備事業 令和6年度以降の企画展開催のための調査・資料借用交渉を実施												
[受益者] 県内外からの来館者						[想定される受益者数] 26,933人(令和5度実績)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 美術館資料収集事業 (役割分担) 資料収集事業で収集した資料を企画展等で公開					
市町との連携状況						他県の状況						

県立美術館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	福井県、実行委員会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	S52 年度 経過年数 48 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営、負担金							□ 補助金				
補助率	—							■ その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	87,613			使用料 諸収入 53,235	34,378							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	74,743	57,947	26,426	45,155	87,613	新幹線開業記念として開催するため増額						
2月現計予算額の推移	74,743	57,947	24,575	45,155								
決算額の推移	63,743	55,743	24,520									
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ R2年度からは、会計年度任用職員経費を政策推進Gで要求 ・ R2年度は、嶺南で企画展を開催 ・ R3年度は、嶺南での企画展開催経費の減額（別途予算措置） ・ R4年度は、企画展の内容に基づく減額 ・ R5年度は、企画展の内容に基づく増額 											
[成果指標等の推移]												
区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	企画展観覧者数 (目標)	(43,250)	(48,880)	(13,010)	(20,325)	(72,000)			・「横山大観展」 12,231人 ・「菱田春草展」 7,311人 ・「寛永寺展・院展」 3,370人 ・「エジプト美術館展」 27,450人			
	実績	31,036	39,424	42,772	26,933							
活動指標	企画展開催件数 (目標)	(4)	(4)	(3)	(3)	(4)						
	実績	4	4	3	3							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
「富田溪仙展」は入館者2,536人、「北原照久“お宝”大コレクション展」は入館者20,068人、「パリに行きたい！」入館者は4,329人であった。著名なコレクターのコレクションの展示が好評であったこともあり、成果指標を達成することができた。				令和6年度は新幹線開業記念の特別展を開催するため、広報に努め、多くの来館者を呼び込む。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

一乗谷朝倉氏遺跡博物館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子								
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務	事業区分	■ 実行予算	事業開始年度	S61 年度 経過年数 39 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度							
事業実施方法	直営																		
補助率	-																		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[]												
[解決すべき問題・課題] 常設展示だけでは伝えきれない一乗谷朝倉氏遺跡の価値や魅力について、県内外の資料も用いながら来館者へわかりやすく伝える。						[問題・課題を表す客観的データ] 一乗谷朝倉氏遺跡博物館 令和4年10月開館 (旧資料館見学者数 H30: 64千人 R元: 88千人 R2: 87千人 R3: 564千人) (朝倉氏遺跡博物館見学者数 R4(10月~3月): 90,774人 R5(4月~9月): 89,232人)													
[事業目的] 一乗谷朝倉氏遺跡の調査研究成果をもとに朝倉氏に関する歴史資料などを公開展示することで、県内外からの来館者の一乗谷朝倉氏遺跡への関心を高める。																			
[事業内容] (1) 新幹線開業記念特別展 武威の煌めき展Ⅱ 会期: 令和6年4月27日~5月26日 テーマ: 「源氏物語と戦国武将」 (2) 新幹線開業記念特別展 武威の煌めき展Ⅲ 会期: 令和6年7月13日~9月1日 テーマ: 「鞠庭に遊ぶ」 (3) テーマ展 会期: 令和6年10月5日~11月24日 テーマ: 「城下町の台所(仮)」																			
[受益者] 県内外からの来館者						[想定される受益者数] 200千人													
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 一乗谷朝倉氏遺跡博物館(仮称)開館記念事業(実績) 開館記念特別展Ⅰ(R4.10.1~R5.1.31) 19,616人					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名(役割分担)												
市町との連携状況						他県の状況													

一乗谷朝倉氏遺跡博物館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	S61 年度 経過年数 39 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	24,892			使用料 諸収入 31,700	△ 6,808	使用料29,700千円、諸収入2,000千円						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					15,615	24,892	新幹線開業に伴い企画展回数増による増額					
2月現計予算額の推移					15,615							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	企画展観覧者数	(目標)			(8,500)	(47,000)			北陸新幹線福井・敦賀開業記念特別展 戦国大名朝倉氏 武威の煌めきⅠ (3/9~4/14) 10,000人 新幹線開業記念特別展 武威の煌めき展Ⅱ 13,000人 新幹線開業記念特別展 武威の煌めき展Ⅲ 24,000人			
		実績			13,772							
活動指標	企画展開催件数	(目標)			(2)	(2)	(2)	(2)				
		実績			2							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
開館1周年・朝倉義景没後450年記念特別展「朝倉義景の一生」は入館者13,772人、テーマ展「よみがえる武家屋敷」の入館者数は32,106人であった。				新幹線開業を迎え、大河ドラマに関連したテーマを取り扱うなど魅力的な特別展を開催しさらなる誘客促進を図る				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

一乗谷朝倉氏遺跡整備・活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	S42 年度 経過年数 58 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R8 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題] 一乗谷朝倉氏遺跡は昭和42年以来継続して発掘調査・調査結果に基づく整備事業により、広範囲で本物の遺構を露出展示するなど大きな成果をあげてきたが未解明な点も多く、今後も継続して発掘調査・整備等を実施する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 環境整備済面積：約15ha (特別史跡指定範囲【約278ha】の5%)						
[事業目的] 全国的にもまれな規模と内容をもつ戦国城下町である一乗谷朝倉氏遺跡について、「朝倉氏遺跡研究協議会」の指導のもと、その価値を高めるために発掘調査および環境整備を実施し、福井県民をはじめ全国から訪れる見学者のために、生きた歴史教育・生涯学習の場として活用される史跡公園の整備を目指す。												
[事業内容] 「特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡発掘・整備基本計画」「特別名勝一乗谷朝倉氏庭園保存活用計画」に基づき、発掘調査および環境整備等を行う。 ○発掘調査事業・・・学術的な発掘調査を実施し、戦国城下町の人々の生活様式等を解明する。 ○復原整備事業・・・発掘調査成果を受けて、検出した遺構の保存を行いながら、当時の様子を復原する。 ○重要文化財保存修理事業・・・朝倉氏遺跡出土の重要文化財の保存修理を行う。 ○重要文化財追加指定事業・・・重要文化財の追加指定を目指し、資料集成、調査分析、成果の公開等を行う。												
[受益者] 県内外の観光客						[想定される受益者数] 823,200人(令和4年度実績)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	発掘・環境整備は県が実施し、福井市が管理を行う。					他県の状況						

一乗谷朝倉氏遺跡整備・活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	S42 年度 経過年数 58 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	249,678	114,406	58,000		77,272	国庫：国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 地域の特色ある埋蔵文化財活用事業費国庫補助金 起債：公共事業等債、行革債						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	47,070	97,590	125,179	292,602	249,678	協議会にて策定された短期計画に基づく増額 埋蔵文化財追加指定事業の追加に基づく増額						
2月現計予算額の推移	17,905	60,270	62,279	203,581								
決算額の推移	17,825	59,963	61,387									
前年度までの 主な増減理由	協議会にて策定された短期計画に基づき実施											
[成果指標等の推移]												
区 分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	報告書刊行数	(目標) (1)	(1)	(1)	(1)	(1)			発掘・復元状況の報告書を発行			
		実績 1	1	1	1							
活動指標	発掘・復原面積	(目標) (351)	(321)	(2,250)	(6,540)	(5,780)			研究協議会にて策定された短期計画に基づく			
		実績 50	499	2,050	3,100							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
・外的要因 国庫の内示減により、事業費全体が減少したため、それに伴い発掘・整備面積も減少した				研究協議会にて策定された短期計画に基づき、事業実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	42,924	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

北陸新幹線福井・敦賀開業カウントダウン首都圏プロモーション事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[F I R S T 2 9 1 ~ 北陸新幹線開業プラン~]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線開業に向け、一乗谷朝倉氏遺跡博物館のPRを行い、露出拡大を図ることで、認知度・魅力度を向上させ誘客促進に繋げる。						[問題・課題を表す客観的データ] 一乗谷朝倉氏遺跡見学者数 (観光統計) H30 : 723千人 R元 : 1,057千人 R2 : 851千人 R3:567千人 R4:751千人						
[事業目的] 年度末に北陸新幹線県内開業を迎える令和5年度に、始発となる東京駅の丸の内周辺施設を中心としてPR活動を行い、一乗谷朝倉氏遺跡博物館への誘客拡大を図る												
[事業内容] 開館1周年を迎える一乗谷朝倉氏遺跡博物館のPRイベント (春風亭昇太氏の落語会等) の開催												
[受益者] 北陸新幹線福井・敦賀開業カウントダウンキャンペーン来場者数						[想定される受益者数] 35,679人 (R4)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

北陸新幹線福井・敦賀開業カウントダウン首都圏プロモーション事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 区分	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務							
補助率	-												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額													
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移					8,037		開業年度のみのため						
2月現計予算額の推移					8,037								
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	PRイベント来場者数 (目標) 実績				(36,000) 58,834				PRイベント来場者数 36,000人				
活動指標	首都圏でのイベント開催 件数 (目標) 実績				(1) 1				首都圏での開館1周年イベント 1回以上開催				
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
KITTE丸の内において一乗谷朝倉氏遺跡博物館開館1周年記念イベントを開催（来場者アンケート結果満足度100%）。開業年度のみ実施のため事業完了。				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	8,037		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			